

次世代半導体調査特別委員会

- 1 日 時 令和6年1月29日（月）午前11時06分～午前11時30分
 - 2 場 所 総合庁舎 議員控室
 - 3 事 件 本特別委員会の進め方について
 - 4 出席委員 米川委員長、工藤秀一副委員長、小笠原委員、鳥越委員、
工藤隆男委員、三浦委員、箱崎委員、内藤委員、高山委員、
梅森委員
 - 5 欠席委員 田村委員
 - 6 委員外出席 多田議長
 - 7 事務局 木林局長、石塚補佐
-

会議の経過

◎ 委員長あいさつ

○米川委員長 皆さんお疲れ様です。ではこれから次世代半導体調査特別委員会を開催します。

◎ 事件（内容）

○米川委員長 まずお手元に資料がありますように特別委員会の進め方についてお諮りしたいと思いますが、何か考えていることはありますか。

○木林局長 事務局から一度お話ししますか。

○米川委員長 そうですか。それじゃあ事務局の方から説明していただきますが、先にこの地図のことについてお話ししますと、私、地理が不案内なものですから局長の方に地理的なことを聞きましたら地図を用意しましょうかとおっしゃってくださったものですから、それなら皆さんにということでも用意していただきましたので、皆さんの手元に各地域からのラピダスへの

地理的なものが書かれた地図が手元に届いています。それでは説明をお願いします。

○**木林局長** まず先に資料の方からお話します。米川委員長からご指示を受けまして、安平町それぞれ4地区からラピダスまでの距離を示しています。経路は一般的な経路ということでグーグルで調べたものです。2枚目は早来地区と遠浅地区から。安平は早来の方を回っていくのが一番近いので書いていませんが、そういうことで2枚目は遠浅、早来ということでラピダスまでの経路ということでございます。

3枚目については、これは米川委員長に言われたわけではなくて余計な資料かも知れないですが、ラピダスに使う水は安平川から取水するということがあったものですから。今の安平川から取水されている取水場所ですね。行政境は点線が上の方に入っている、これ行政境なのですが苫小牧。ここで水を今取っていると。この取った水が今度運ばれるということになります。

次4ページ目ですが、ラピダスと工業用水の取得位置を示したものです。まだちょっとはっきりしていないので何とも言えませんが、こういう位置関係にあるということをご理解していただければなと思っています。

次のページですが、ラピダスで使った水は下水に流されるということなのですが、ラピダスの周りがある沼、川の位置関係を記したものです。ラピダスの右下には美々川があって、これはウトナイ湖の方に流れていきますけど近くには美々川があると。ちょっと離れて右側には遠浅川があるということで、遠浅川に伝って水が流れてくるということはないのかなとは考えていますが、何かあれば美々川には、何か事故があれば美々川が汚染されるような、そういった心配はあるのかなと思います。

一番最後のページですが、この水は千歳の下水处理場に流すという話だったので、その終末処理場がどこにあるかということでして。左下が千歳の駅になります。これは水が上の方はずっと流れて行って、千歳川ですが、石狩川と合流して最後は日本海に流れていくのですね。そういう流れで水は流れていくので終末処理場は駅に近い、道の駅に近いのかな、その近くに終末処理場があるということで位置関係をご理解していただければなと思って作らせていただきました。位置関係は大体こんな感じかなと。そういうことで、これからのご検討のなかで参考にさせていただければなと思います。

○**米川委員長** ありがとうございます。

○木林局長 この委員会の進め方なのですが、委員会独自で調べることになると思うのですが、町から今来ている情報としてどういった情報でどこまで来ているのかというところが非常に心配というか共有をした方がいいのではないかとということで、まず初めに町との情報共有が一番先なのかなと。その上で委員会として何かその物申すことがあれば町の方に要請書とか要望書という形で出されるのがいいのかなというふうに考えておりました。事務局の考えですけれども。そういう進め方で当面はいいのかなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○米川委員長 ありがとうございます。ということで今後の調査は情報共有が必要かなと思いますし、町がどういう方向で動いているのかということもお伺いしなければいけないと思うのですが。それらはこちらから説明を求めに行った方がいいかなと思うのですがいかがですか。

町としては特別委員会みたいなものを作って行動しているのでしょうか。

○木林局長 町の方はまだ課長や担当レベルにしか確認していませんが、組織を作ると言ったきり止まっているような状況みたいなので、多分できていないと思います。ただ、情報の共有はラインワークスという庁内メールを使ってそこで共有をしているようなのですが、組織はまだ無いというふうに担当には確認しました。

○米川委員長 そうですか。担当と言ったら渡邊課長のところ。

○木林局長 窓口はそうなっています。

○米川委員長 まだ特別委員会のようなそういう組織はできていないとのことなのですが。今後については議会としてはどういう対応をしたらいいと思いますか。

○鳥越委員 すみません、確認をお願いします。

○米川委員長 はい。

○鳥越委員 委員長は今回委員長になりたいとの思いでなられたのは伝わっているのですが、進め方とか考え方が、もし委員長があればお聞かせ願いた

いなと思って。

○米川委員長　そうですか。ということですので私の方から私の考えを述べさせていただきますけれども。当然予算も絡んできますし色々なことで大きな事業になると思いますので、町とともに進めていかなければならないということは当然のことだと思っています。私としては町の活性化につながるような、発展につながるような、そういうことで何かを言う自治体になってと思っています。その何かっていうのは住宅地を提供するという人口増対策につながるようなことがいいのではないかなと思って、

○鳥越委員　すみません。ごめんなさい。委員長ごめんなさい。進め方の確認だったのです。この委員会の進め方の確認だったのです。

○米川委員長　わかりました。進め方と言いますとあれですね、当然町の考えていることをお聞きして、そして議会として町とともに何かできることがあるかどうかを検討していくのがいいのかなと思っていますけど。その中で説明受けた中で、この特別委員会としてはこういう意見を持っていますとか、こんなふうにしていただきたいとかっていう、そういう要望なども出てくるかと思えますけども。まずは町の方の考え方を説明していただいて。そして情報共有をしていかなければならないかなと思っていますけど。いかがでしょうか。

○梅森委員　はい。

○米川委員長　はい。

○梅森委員　委員長の考え方でいいと思うのですが、私はなるべく早く。まず今どういう状況にあるのかっていうことをきちんと、まず説明をしていただいて、それを踏み台にしてそこから始まると思うのです。だからなるべく早い段階で、今色々な新聞報道で色々盛んに出ていますけれども、ちょっとうちらとしてもどういうふうに捉えていいのかわからない部分があるので、理事者側が今の段階でどういうふうに考えているということについての確認を、なるべく早い段階でそういうところから始まるのではないかなと思うのですよね。ですからそういう機会を早くセッティングしてほしいと思います。

○米川委員長 そういご意見が出ましたが、いかがでしょうか。

○内藤委員 はい。

○米川委員長 はい、どうぞ。

○内藤委員 確か私、9月議会の時にそういう道との情報共有の場が必要ではないかと言った時にちょうど道で会議が開かれているって確か理事者側がおっしゃっていたと思うのですが、それについては別に何も聞こえてきていない。例えばそこでどういう話があったとかってというのはまだ全然聞こえてきていないってことなのではないでしょうかね。誰が集められているかもわからないという状況で確かあの場では話されていたと思うのですが。私それがすごい気になっていて、一議員がこの間の道庁の会議ってどうだったのでしょうかねって聞きに行っていないかどうかということも自分の中でやっていいのかなと思いつながら聞いていないのですが。それに関して何か聞こえていることはあるのでしょうかね。

○米川委員長 わかりました。先ほど梅森委員からお話がありましたように、こちらから理事者側に今の状況どうなっているのか、どういう方向性でこれに取り組んでいこうと考えているのかということをごこちらの方から質問状を出した方がいいかと思いつますがいかがでしょうか。

○鳥越委員 いいですか。

○米川委員長 はい。

○鳥越委員 今内藤さんがおっしゃったように今確認できていること、町の考え方、これからどうしていこうとしているのかという感じで分けて聞いていった方がわかりやすいのかなと思いつますので。

○米川委員長 わかりました。ということでこの委員会に説明をしていただく方向で、町の方に申し入れしてもいいでしょうか。

○梅森委員 はい。いいです。

○米川委員長 じゃあそのように諮っていきたいと思います。となると今度あれですね。町の意向も聞かなければなりませんので、日にちだとかの設定が必要になってきますけど。これについては町との話し合いが必要ですので、事務局と私どもの方でらせていただいでよろしいでしょうか。

○一同 はい。

○木林局長 ちょっと委員長いいですか。

○米川委員長 はい。

○木林局長 大枠で3月議会前の方がいいですよ。

○梅森委員 前の方がいいです。

○木林局長 前か後かだけ決めていただければ。

○米川委員長 わかりました。ということで第2回目のこの特別委員会はいつ頃がいいでしょうか。今局長の方から3月議会を基準として前がいいか後がいいかというお話がありましたけど。どちらにしても町の方の意向というのは全くわからない状態なので、その上で、聞いた上で説明していただけるものが無いとなったらこちらで日にち設定しても何もなりませんのでね。そちらからまず町の方のどれぐらい進んでいるのか、どういう考え方が決まっているのであれば、そこから日にちを決めていきたいと思いますので。前も後も含めて事務局の方にお任せしていただいで、どうでしょう。

○鳥越委員 すみません。

○米川委員長 委員長、副委員長にらせていただいでどうでしょう。

○鳥越委員 委員長。

○米川委員長 はい、どうぞ。

○鳥越委員 よろしいですか。さっき事務局長がおっしゃったのは町に確認するのを前の方がいいのか後でもいいのかという考え方だと思うので、今確認できていることぐらいは投げかけられることができるのではないかなと思いますので、それは議会前の方がいいのかなと思います。そういうものを踏まえて、そこを委員長、副委員長にお任せしますので、議会の後に委員会を設定した方がいいのかっていうことは内容を見てはできるのかなと思います。今確認できていることの確認ぐらいはできるかなと思います。以上です。

○米川委員長 今の状況を確認するぐらいはすぐにでもできるとは思いますが、説明していただけるものがあるのかどうかってということについては、それはきちんと確認した上で前か後かっていう、そういう考えのもとで、要するに3月議会を中心に前か後かっていう、その辺ぐらいの日にちの設定で担当の方にお伺いした方がいいのではないかなと思いますけど。どうでしょう。今の状況がどうなっているかっていうのは議会前に伺いたいと思いますけど。その上で説明するものがあるのか、私が言ったこの特別委員会に説明してくださる内容のものがあるかどうかを確認してこの委員会に説明をお願いするってというのは多分後になるのではないかなと思うのですがどね。まず先に説明をしていただけるものがあるかどうかっていう。

○工藤秀一副委員長 まず現状の情報を共有化させていただきませんかかっていうことでいいのではないのでしょうかね。刻々と多分情報量も変わってくるので、それを今後どうやって共有化していくかという部分を検討いただいて、

○米川委員長 まず今の状況をお伺いするという。その上で伺ったことは文書か何かで知らせた方がいいでしょうかね、皆さん方に。現状はこうなっていますよっていうことを。どうでしょう。

○工藤秀一副委員長 ここに来て説明していただければ一番良いかと思いますが。

○米川委員長 いや、現状が、

○木林局長 委員会やって委員会の場で説明を受けたらいいと思いますけどね。記録にも残りますから。その方がいいと思います。

○米川委員長 委員会で説明してもらおう。

○木林局長 特別委員会やってそこで説明してもらえばいいと思いますけどね。

○米川委員長 じゃあ先のことは考えていなくても。

○木林局長 結構説明することはあると思いますよ。それこそ内藤議員が言った道との打ち合わせの結果ですとか、送水管の経路も多分方向性はぼちぼち見えてきているのではないかと思いますし、あとそこに埋設するのは電気も一緒に合わせるような話もあったりするので、結構話すことはあるんじゃないかと思いますがね。

○米川委員長 じゃあ、まずは状況説明をお願いするという第2回目の特別委員会は現在の状況の説明をお願いするということよろしいですか。

○一同 はい。

○米川委員長 その時期ですが、その時期については担当の方と打ち合わせした上で皆さんにお知らせしたいと思いますがいかがでしょうか。

○内藤委員 はい。

○米川委員長 はい。

○内藤委員 2月は全員協議会が2回入っているので、もしそういうところと一緒にできたら何度も出てくる必要がないかなとちょっと思ってしまいました。全員協議会が2回計画されているので、その後に特別委員会というのがいいのではないかなって。今日のように。どうでしょうか。

○米川委員長 早い時間帯と言ったら2月13日ですか。

○木林局長 まず委員長、2月13日は新規事業の説明で朝から5時ギリギリま

でかかると思うのですよね。13はちょっと厳しいと思います。

○米川委員長 そうですか。

○箱崎委員 やるなら26日の全員協議会で、

○木林局長 そうですね。

○箱崎委員 終わった後にそのままやるという形。ただ局長これ本当に2日間で終わるのですか。結構多いとかっていう、説明が。

○木林局長 事業ですか。ちょっと話が逸れちゃうのですが、新規事業は今調整する前で50本ぐらいあって、そのうち全部といたら終わらないので100万以上の事業に絞って説明だけしてもらおうかなど。資料は全部お渡ししますので、小さいやつも。一応そういう予定で一日で終わらせたいなと思っています。

○米川委員長 そうすると何かの会議にぶつけるとしたらいつですか。

○木林局長 26。

○小笠原委員 2月26日です。

○米川委員長 日程としては2月13日の次、何がありますか。

○木林局長 26日に全員協議会を予定しています。

○米川委員長 26日に全員協議会。

○木林局長 その時でよろしければ、その時にやらせていただきますが。

○米川委員長 26日に全員協議会があると言っていますので、その時に説明していただけますか。いいですね。

○一同 はい。

○米川委員長 特別このために足を運ばなくても。よろしいでしょうか皆さん。

○一同 はい。

○米川委員長 それでは次回はこの半導体調査特別委員会の次回は2月26日と
いうことで。後で正式なご案内を出します。あと何か決めておいた方がい
いことありますか。

○高山委員 無いです。

○米川委員長 無いですね。それでは本日の会議はこれぐらいでいいでしょう
か。それではお疲れ様でした。次世代半導体調査特別委員会を終了します。
ありがとうございました。

閉会 午前11時30分

会議の経過を記載してその相違ない事を証するため、安平町議会委員会条例
第26条の規定に基づき、ここに記名押印する。

令和 年 月 日

次世代半導体調査特別委員会委員長
